

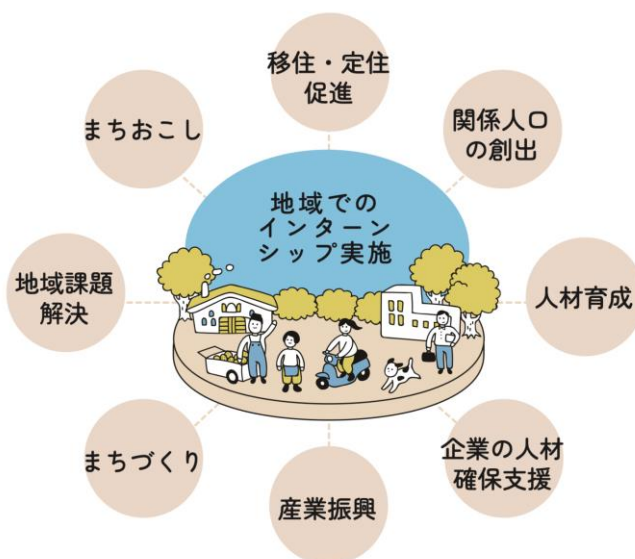
「泉佐野市ローカルインターン」 都会の大学生が地域産業を体験するプログラムを 自ら企画する新たなプロジェクトをスタート

泉佐野市（市長：千代松大耕）と地方創生を支援するボノ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：横山貴敏）は、首都圏の大学・専門学校の学生を対象に、「考え、経験、継続的な関わり」を重視した新しい形の地域産業を体験するプログラム「泉佐野市ローカルインターン」を公民連携により実施します。

このプログラムでは、従来のインターンシップの枠にとらわれず、希望する学生がチームを組んで企画段階から参加することで、地域の豊かな文化、風土、農業、漁業、モノづくり、観光などを深く理解し、その経験を通じて本市の新たな地域資源の発見など、若者目線での新たな地域の魅力の創出を図り、本市の地域活性化と地域産業の振興や、新たな交流・関係人口の拡大を目指します。また、本市の産業現場で学び、経験を積んだ学生たちが、その後のキャリアや人生の選択肢において、この経験を活用することで本市の産業と未来を担う若者との持続的な関りとなることを期待します。

プログラムのキックオフとして、「泉佐野市の食と産業から地域を学ぶ」をテーマにした本市を体感する地域交流イベントを、2023年9月17日（日）13時から東京都文京区の地域交流スペース「我楽田工房」で開催します。当日は、本市職員による地域産業や文化、観光の紹介のほか、Zoomを使った本市の地域企業との意見交換、学生による本市の食材を使った料理づくりや試食なども予定しています。

都会の学生たちが自分たちの視点と力で地方創生に取り組む、この革新的な試みにぜひご注目ください。



<キックオフイベントについて>

イベント名：泉佐野市の食と産業から地域を学ぶ

日程：2023年9月17日（日）

時間：13:00～15:00

場所：我楽田工房（文京区関口 1-29-6,1F）

■泉佐野市について

大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。日本遺産にも認定された中世日根荘の風景が残る山間部の景観と、大阪湾に面する臨海部にある「りんくうタウン」や「関西国際空港」の近代的な風景が共存するまちでもあります。平成6年に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

泉佐野市役所：<https://www.city.izumisano.lg.jp/>

<泉佐野市の特徴>

- ・大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置する
- ・美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境
- ・臨海エリアに関西国際空港やりんくうタウンがある
- ・タオル産業発祥の地
- ・地域の恵まれた環境を活かした農業や漁業も活発

■会社概要

商号：ボノ株式会社

代表者：代表取締役 横山 貴敏

所在地：〒112-0014 東京都文京区関口 1-29-6,1F

設立：2008年7月10日

URL：<http://bono.co.jp/>

「いまを楽しく 未来をつくる」というビジョンを掲げるボノ株式会社は、東京と地方をつなげ、地域の魅力を活かしたモノ・コトづくりの支援を行っています。東京の住民や学生、企業、経営者、専門家を巻き込み、全国の自治体、生産者、地元企業と協力し、地域活性化と新価値創造を追求。東京・文京区の「我楽田工房」では、毎月の地域イベント、全国30地域以上での学生交流事業、150人以上参加の経営者イベント、1万人規模の地域祭りなど、様々な人々と材料が交差する場を提供しています。

【報道関係者お問い合わせ先】

・泉佐野市 生活産業部 まちの活性課 担当：今西／上原 TEL：072-469-3131
E-mail：kankou@city.izumisano.lg.jp

・ボノ株式会社（東京都文京区関口 1-29-6,1F） 担当：横山／堀田 TEL：090-9303-8275
E-mail：info@garakuta.tokyo